

# 第36回日本顎咬合学会学術大会・総会 テーブルクリニック セッション1



**日時**

2018年6月9日 (土)  
13:30~14:40

**会場**

東京国際フォーラム 地下2階  
ホールE テーブル8

**プログラム**

## 炭酸アパタイト骨補填材のインプラント治療への応用

従来、病気や事故により失われた骨を回復させる骨再建術においては、自家骨移植が優先選択されてきたが、自家骨採取による患者への侵襲は大きく、これに代わる機能性の高い人工骨の開発が望まれていた。

この度開発された「炭酸アパタイト製人工骨」は、生体骨の無機成分である炭酸アパタイトと同一成分であり、臨床での治療効果が大きいと期待される。

本開発品の治験は、東京医科歯科大学歯学部附属病院、徳島大学病院、九州大学病院の3施設において実施された。サイナスリフトに適用し、インプラント体同時埋入（1回法）群とインプラント体待時埋入（2回法）群を合わせた治療成功率（インプラント体の動揺・回転の有無、埋入トルクの評価から算出）は、有効と判断される基準を上回っており、全症例で新生骨の形成およびインプラントの機能維持が認められた。そして2017年12月、インプラント症例への適応としては国内初となる薬事承認を得た。今後は、自家骨採取が難しい患者や、骨が不足しインプラント治療が受けられない患者も治療が受けられるようになり、国民のQOL向上に寄与することが期待される。

今回は、治験症例およびその他適応症例のご紹介、また炭酸アパタイト製人工骨を使用するにあたっての注意点などをお伝えしたい。



**【講師】立川 敬子 先生**

東京医科歯科大学附属病院  
インプラント外来 講師



 **Cytrans®**